

日本藻類学会第 44 回大会
— 鹿児島・2020 —

The 44th Annual Meeting
of
the Japanese Society of Phycology
— Kagoshima 2020 —



© Hoshimi Kamisaki 2019

学会会長 奥田 一雄
大会会長 寺田 竜太

鹿児島大学 共通教育棟 1 号館
(〒 890-0065 鹿児島市郡元 1 丁目 21-30)

2020 年 3 月 26 日 (木) ~ 28 日 (土)

主催：日本藻類学会

The 44th Annual Meeting of the Japanese Society of Phycology
General Education Bld. #1, Center for General Education (Korimoto Campus), Kagoshima University
(Korimoto 1-21-30, Kagoshima City, Kagoshima 890-0065, Japan)
March 26 (Thu) ~ 28 (Sat), 2020

1. 会場までの交通、宿泊（図1, 2）

(1) 会場までの交通

- ・鉄道：「鹿児島中央駅」の桜島口（東口）を出て市電2系統「郡元」行きに乗り、「唐湊」電停で降車下さい。郡元キャンパス西門から構内を徒歩約10分で共通教育棟に到着します。バスを利用の方は、「鹿児島中央駅」から鹿児島市営バス9, 11, 18, 20番線または鹿児島交通19番線に乗り、「鹿大正門」または「法文学部前」で降車下さい。どちらも徒歩約1分で郡元キャンパス東門に到着します。会場は東門の近くです。「鹿児島駅」または天文館方面からお越しの方は、市電2系統の他に、1系統「谷山」行きに乗り、「騎射場」電停で降車することも可能です。「騎射場」電停からは、市街地を西に徒歩約5分で郡元キャンパス東門に到着します。
- ・空路：「鹿児島空港」から鹿児島市内行きシャトルバスに乗り、「鹿児島中央駅」で降車下さい。以下は「鹿児島中央駅」からの経路と同じです。帰路に会場から空港に行かれる場合は、飛行機の出発時刻の2時間前までに会場を出発することをお勧めします。
- ・乗用車でのご来場はご遠慮ください。

(2) 宿泊

- ・鹿児島市内のホテルの多くは、鹿児島中央駅周辺と天文館地区に立地しています。大会実行委員会よりホテル等の斡旋は行いませんので、各自でお調べいただき、手配をお願いいたします。航空券と宿泊のパック等で購入すると割安です。

2. 会場（図1, 2, 3）

大会、総会、シンポジウム：鹿児島大学共通教育棟1号館（鹿児島市郡元1丁目21-30、郡元キャンパス東門近く）

懇親会：鹿児島大学学習交流プラザ（同上）

編集委員会・評議員会：鹿児島大学大学院連合農学研究科棟3階会議室（鹿児島市郡元1丁目21-24、郡元キャンパス鹿大正門近く）

藻類学ワークショップ：鹿児島大学水産学部5号館1階学生実験室1-1, 1-2（鹿児島市下荒田4丁目50-20、下荒田キャンパス）

レクリエーション：鹿児島大学教育学部テニスコート（郡元キャンパス）

エキスカーション：いおワールドかごしま水族館（鹿児島県鹿児島市本港新町3-1）

（鹿児島大学 web site もご参照ください。）

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/campusmap.html>

3. 日程

3月26日（木）

13:30～18:00 ワークショップ（Rを用いた藻類データの解析セミナー）【水産学部5号館1階学生実験室1-1, 1-2, 図1】

13:00～16:00 レクリエーション（テニス大会）【教育学部テニスコート】

15:00～16:30 編集委員会【連合農学研究科棟3階会議室】
※評議員控室【連合農学研究科棟3階多目的室】

16:30～18:00 評議員会【連合農学研究科棟3階会議室】

3月27日（金）

9:00～11:50 口頭発表【共通教育棟1号館3階131号講義室（A会場）・2階121号講義室（B会場）】

11:50～12:50 昼休み

12:50～13:50 ポスター発表（奇数番号）【共通教育棟1号館2階124, 125号講義室（D・E会場）】

14:00～16:35 口頭発表【A・B会場】

16:45～17:45 総会【共通教育棟1号館1階111号講義室（C会場）】

18:00～20:00 懇親会【学習交流プラザ】

3月28日（土）

9:00～11:50 口頭発表【A・B会場】

11:50～12:50 昼休み

12:50～13:50 ポスター発表（偶数番号）【D・E会場】

14:00～17:00 公開シンポジウム【C会場】



図1 郡元キャンパス、下荒田キャンパスへのアクセス

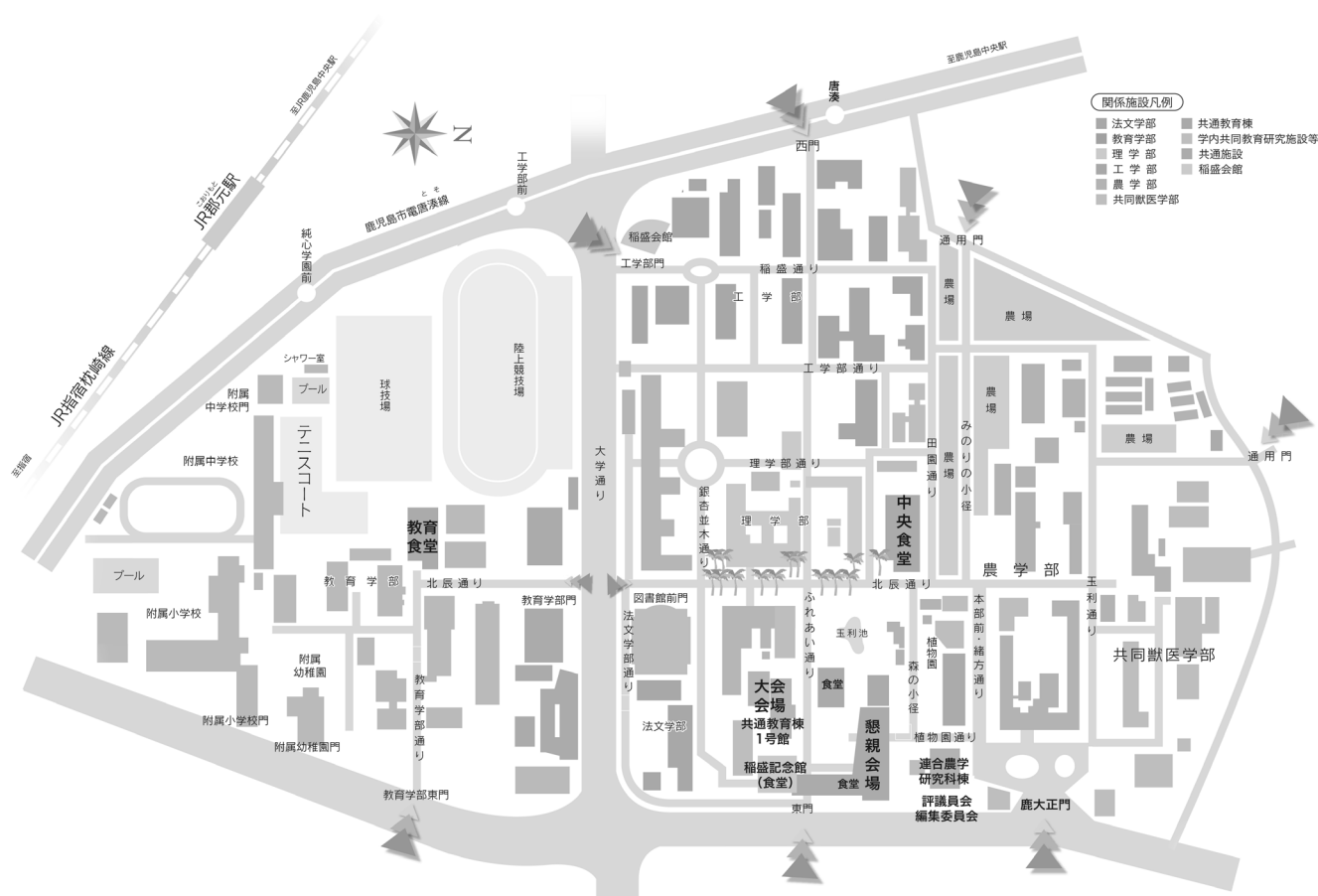


図2 郡元キャンパス内の会場、懇親会場、評議員会、編集委員会会場並びに学内食堂の位置図

4. 参加受付

受付時間：3月27日（金） 8:30～17:00

3月28日(土) 8:30 ~ 17:00

当日参加申込を受け付けます。

大会参加費：6,000 円（学生 4,000 円）

懇親会費：6,000 円（学生 4,000 円）

※受付は共通教育棟1階ロビーを予定しています。

5. クローク, 昼食

クローク

以下の時間、荷物（ただし、貴重品は除く）をお預かり
します【共通教育棟1号館2階122号教室】。

3月27日(金) 8:30 ~ 18:00

3月28日(土) 8:30 ~ 17:00

昼食 (図 2)

郡元キャンパス内の鹿大生協中央食堂（土曜日も営業）、学習交流プラザフードコーナー（土曜日閉店）、喫茶ガロア（土曜日閉店）、稲盛記念館内のヴェジマルシェ'19（土曜日も営業）などが利用可能です。また、郡元キャンパス周辺には飲食店が多数ありますので、そちらもご利用下さい。

6. 編集委員会・評議員会

編集委員会：3月26日（木） 15:00～16:30

評議員会： 同 16:30～18:00

会 場：連合農学研究科棟3階会議室

評議員控室：連合農学研究科棟3階多目的室

連 絡 先：099-285-8792（連大事務室）

7. 発表形式

(1) 口頭発表

時 間：機器切り替えの時間を含め、1人15分（目安：発表12分、質疑応答2分）です。

機 器：発表者のパソコンにつないだ液晶プロジェクター（スクリーン1枚）で発表していただきます。各自でパソコンをご用意下さい（ご自身のパソコンを用意できない方は、あらかじめ実行委員会にご相談ください）。

- ・使用する液晶プロジェクターは切替器のミニ Dsub15 ピン外部出力コネクタを介してパソコンに接続されます。多くのパソコンはこのコネクタで接続できますが、アップル社製パソコン、あるいは DVI や HDMI 接続端子しか持たないパソコンを使用する場合は各自で接続アダプター、変換アダプター等をご用意下さい。また、

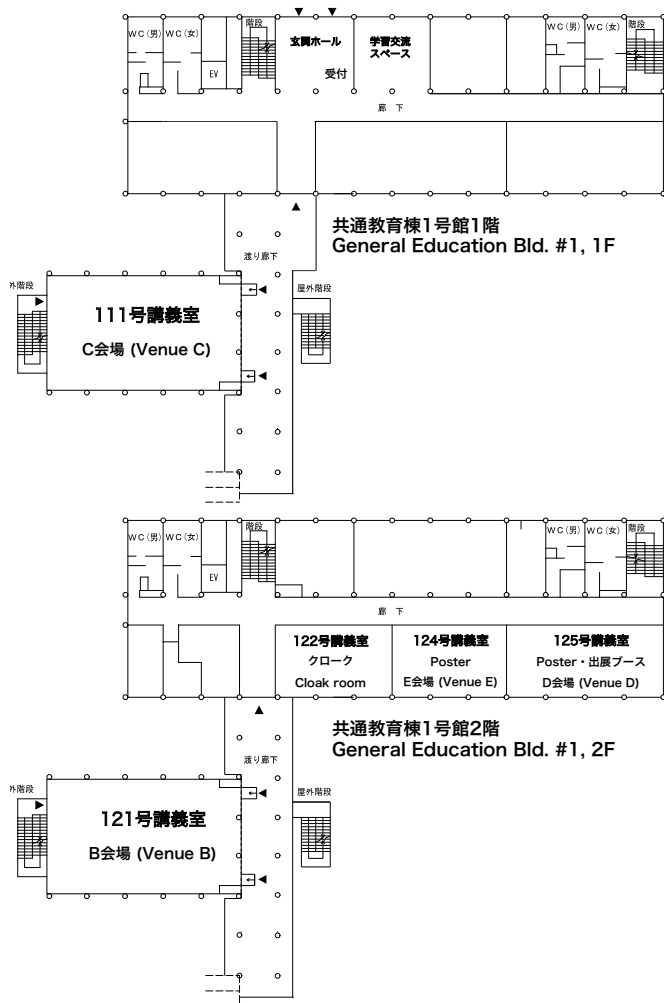
パソコンのバッテリーだけでは液晶プロジェクターに出力できない場合がありますので、パソコンに電源がとれるよう、電源アダプターをご用意ください。

- ・万一に備え、発表用ファイルをコピーした USB メモリをお持ち下さい。発表用ファイルに静止画、動画、グラフ等のデータをリンクさせている場合は、それらのデータも USB メモリに保存して下さい。
- ・次の発表者は、発表者席で切替器の空いているラインにパソコンを接続して待機し、プレゼンソフトを立ち上げて下さい。前の発表が終わり次第、次の発表者はご自身で切替器のスイッチを切り替えていただきます。パソコンのミラーリングの操作はスイッチの切替後に行ってください。
- ・会場内に試写室【C 会場】を設けますので、事前の動作確認にご利用ください。

(2) ポスター発表

以下の要領で作成して下さい。

- ・サイズ：ポスター用紙の大きさは、A0 サイズ（縦長）



に収まるようにしてください。

- ・貼付用具：ピンまたはテープを大会実行委員会で準備します。
- ・必要記載事項：ポスターの上部に発表番号、表題、氏名（所属）を記入して下さい。
- ・構成：目的、実験（観察）方法、結果、考察、結論について、それぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。
- ・写真・図表：それぞれに簡単な説明文を添付して下さい。
- ・フォント・図表サイズ：少し離れた場所からでも判読できるようにご配慮ください。
- ・掲示時間：3月27日（金）8時30分から掲示できます。12時頃までに所定の場所に掲示し、28日（土）15時頃までに撤収して下さい。

8. 公開シンポジウム

藻類研究：多様なアプローチ、見えてきたこと、これから求められること

日 時：3月28日（土）14:00～17:00

会 場：共通教育棟1号館1階111号講義室（C会場）

進 行：寺田 竜太（鹿大）

講演者：野崎 久義（東大）、真山 茂樹（東京学芸大）、堀口 健雄（北大）、奥田 一雄（高知大）、川井 浩史（神戸大）

企画趣旨：藻類は、30億年以上に及ぶ長くて複雑な進化や環境への適応を経て、現在に至る多様化をとげてきた。また、藻類自体が種多様性に富んだ生き物であると共に、藻類をよりよく理解するためのアプローチも多様である。特に、前世紀末や今世紀に入ってからの研究手法の劇的な技術革新によって、我々の想像をはるかに超える多様な世界が見えるようになってきた。本シンポジウムでは、藻類研究に関する多様なアプローチについて、各分野を切り開いてきた第一人者の研究を通して、「見えてきたこと」や「これから求められること」について論じることを目的とした。

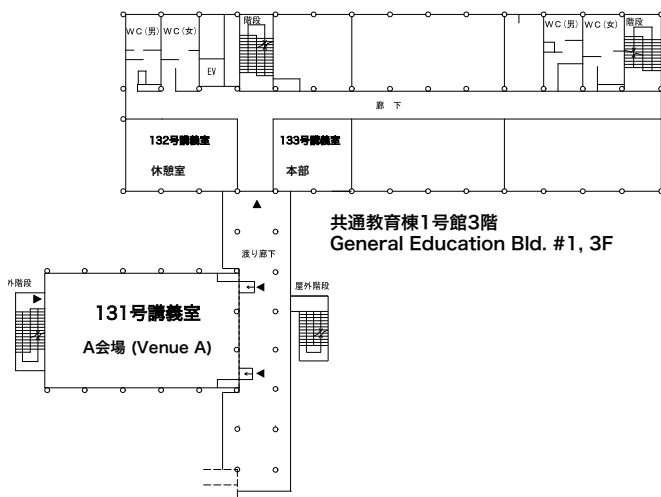


図3 共通教育棟1号館内の会場配置図（▲は屋外に面した玄関）

9. 藻類学ワークショップとエクスカーショ

(要事前予約)

ワークショップ：Rを用いた藻類データの解析セミナー

内 容：近年、Rを用いた統計解析や図表作成が藻類研究でも広く浸透してきましたが、まだ扱ったことのない方も多くおられます。本ワークショップでは、Rを用いた藻類データの効果的な解析法や図表作成法について学びます。Rのインストール、データ読み書き、検定等を行う「初級コース」と、データ処理、作図、モデル診断を行う「中級コース」に分けて実施します。

講師：Gregory N. Nishihara (中級)、遠藤 光 (初級)

日 時：2020年3月26日13時30分～18時00分

場 所：水産学部5号館学生実験室1-1, 1-2 (鹿児島市下荒田4丁目50-20, 下荒田キャンパス)

日 程：

13:00～受付(食事を済ませて来て下さい)

13:30～講義と実習

18:00終了・解散

初級コースの内容

- ・RおよびR Studioのインストールとデータ読み書き
- ・2～3グループ間の検定 (t検定・ANOVA・多重比較)
- ・2要因の複合作用の解析 (2-way ANOVA・GLM)

中級コースの内容

- ・データ処理 (tidyverseを活用)
- ・投稿用の作図 (ggplotを活用)
- ・非線形モデル・モデル診断

連絡先：h-endo@fish.kagoshima-u.ac.jp (遠藤光)

エクスカーショ：かごしま水族館バックヤードツアー

内 容：いおワールドかごしま水族館(公益財団法人鹿児島市水族館公社)は、九州中南部で最大規模の水族館です。黒潮大水槽におけるジンベイザメの展示やピラルクーの展示が有名ですが、ガラモ場やアマモ場水槽の展示も高い評価を受けています。今回は、一般見学では中に入れないバックヤードの見学を行い、海藻・海草類の展示における工夫や配慮を学びます。現地集合、現地解散です。

日 時：2020年3月29日(日)9時30分～12時00分

場 所：いおワールドかごしま水族館(鹿児島県鹿児島市本港新町3-1)

備 考：入館料が必要です(大人1,500円)

日 程：

9:30～黒潮大水槽のバックヤードご案内

10:15～「ジンベエザメの食事の時間」(給餌解説)

10:30～「いるかの時間」

11:00～海藻海草に関する水槽見学

11:30～解散、以降は自由に観覧

連絡先：h-endo@fish.kagoshima-u.ac.jp (遠藤 光)

10. レクリエーション

藻類学会員の親睦を深めるため、テニス大会を以下のよう

に企画しています。参加希望者はご連絡下さい。

日 時：2020年3月26日(木)13:00～16:00

場 所：教育学部テニスコート

連絡先：山下 洋(西海区水産研究所亜熱帯研究センター)

連絡先：hyamashita@fra.affrc.go.jp

11. 託児施設について

(要事前予約)

乳幼児(2ヶ月～)から学童(6歳～)までを対象とした託児施設の利用を希望する参加者に対し、大会会場から徒歩約15分の託児施設(子育て支援ルームキッズベース、<https://www.kidsbase-ccc.com/>)での一日保育を実行委員会

託児支援のお知らせ(日本藻類学会)

日本藻類学会は「大会における託児支援に関する申し合わせ」に基づき、会期中(3/27金、3/28土;会議出席者は3/26木も含む)の託児費用の半額を、子供一人日額5,000円を上限として学会会計から補助します。補助を希望される方は、大会1週間前の3/19木17:00までに庶務幹事(峯

12. その他(WI-FI, 禁煙)

会場では、鹿児島大学の公衆WI-FI(KNIT-GUESTとeduroam)が利用可能です。詳細については、会場内の案内をご覧ください。なお、鹿児島大学は屋外を含めて全面禁煙です。喫煙可能な場所はありません。

13. 第44回大会実行委員会と問い合わせ先

大会会長・実行委員長：寺田 竜太(鹿大・院・連農)

庶務幹事：遠藤 光(鹿大・水)

会計幹事：松岡 翠(鹿大・水)

委 員：Gregory N. Nishihara(長崎大・海洋機構)

委 員：島袋 寛盛(水産研究機構・瀬戸水研)

委 員：渡邊 裕基(海生研)

問い合わせ先

〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目50-20 鹿児島大学水産学部

日本藻類学会第44回大会実行委員会庶務幹事、遠藤 光

連絡先：h-endo@fish.kagoshima-u.ac.jp

電 話：099-286-4131

日本藻類学会第 44 回大会講演プログラム

The 44th JSP Annual Meeting – Kagoshima 2020 – Program at a Glance

3月27日(金) 午前の部 March 27 (Fri) AM

9:00 – 11:55 口頭発表 Oral Session (Venue A: Room #131, 3F; Venue B: Room #121, 2F)

A 会場 (3 階 131 号講義室)		B 会場 (2 階 121 号講義室)	
9:00	A01 発生段階別に冷蔵保存したアカモク幼胚の発芽率 ○瀬田 智文 ^{1,2} ・倉島 彰 ² (¹ 京都海セ, ² 三重大・院・生資)	B01	ディスコバ生物群, マラウィモナス類, アンキロモナス類が保持する新奇ミトコンドリア局在 DNA ポリメラーゼ ○原田 亮 ¹ ・中野 賢太郎 ¹ ・矢吹 彬憲 ² ・白鳥 峻志 ² ・Ensoo Kim ³ ・稲垣 祐司 ^{1,4} (¹ 筑波大・院・生命環境, ² 海洋研究開発機構, ³ American Natural History Museum, ⁴ 筑波大・計算科学研究セ)
9:15	A02 アカモクおよびヒジキの卵からの種苗育成条件について ○藤谷 紳平・桑野 和可 (長崎大・院・水環)	B02	不等毛藻類の葉緑体喪失に伴う, 葉緑体とミトコンドリアへの二重局在性タンパク質の標的配列の進化 ○東 智範・加山 基・宮下 英明・神川 龍馬 (京大・院・人間環境)
9:30	A03 The effects of temperature and nutrients on the growth of two pest seaweeds in Fiji ○Harshna Charan ^{1,2} ・Antoine De Ramon N'Yeur ¹ (¹ Pacific Centre for Environment and Sustainable Development, The University of the South Pacific, ² Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University)	B03	Rapaza viridis における盗葉緑体の制御メカニズム ○丸山 萌 ¹ ・白崎 透 ¹ ・伊阪 俊貴 ¹ ・大沼 亮 ² ・宮城島 進也 ² ・栗井 光一郎 ³ ・洲崎 敏伸 ⁴ ・柏山 祐一郎 ¹ (¹ 福井工大, ² 遺伝研, ³ 静岡大, ⁴ 神戸大)
9:45	A04 褐藻タマハハキモクの光合成に対する光, 温度, 乾燥の影響 ○伊藤 友洋 ¹ ・Gregory N. Nishihara ² ・遠藤 光 ¹ ・寺田 竜太 ³ (¹ 鹿大・水, ² 長崎大・海洋機構, ³ 鹿大・院・連農)	B04	非光合成性藻類における <i>clpC</i> 遺伝子の有無を介した色素体ゲノム喪失に対する機能的制約 ○加山 基 ¹ ・矢吹 彬憲 ² ・宮下 英明 ¹ ・神川 龍馬 ¹ (¹ 京大・院, ² 海洋研究開発機構)
10:00	A05 高水温化による藻場生態系と一次生産量の変化 ○日野出 賢二郎 ¹ ・紙崎 星美 ¹ ・寺田 竜太 ² ・Gregory N. Nishihara ³ (¹ 長崎大・院・水環, ² 創価大・院・工, ³ 鹿大・院・連農, ⁴ 長崎大・海洋機構)	B05	クロララクニオン藻における形質転換体の薬剤選抜法の開発 ○松田 向平 ¹ ・平川 泰久 ² (¹ 筑波大・院・生命環境, ² 筑波大・生命環境系)
10:15	A06 褐藻ノコギリモクのリン枯渇期における生存戦略～伸長期および成熟期におけるリン貯留能～ ○大竹 正弘 ¹ ・角皆 瑞紀 ² ・Gregory N. Nishihara ³ ・戸田 龍樹 ¹ (¹ 創価大・院・工, ² 長崎大・院・水環, ³ 長崎大・海洋機構)	B06	緑藻 <i>Volvox</i> 節の雌雄同体種から雌雄異体種への進化基盤の解明 ○山岸 潮音 ¹ ・金原 僚亮 ² ・山本 荷葉子 ² ・豊岡 博子 ² ・野崎 久義 ² ・嶋田 智 ¹ (¹ お茶大・理・生物, ² 東大・院・理)
10:30–10:35	休憩 Break		
10:35	A07 人工海草の一次生産力推定～人工藻場は藻場の機能を担えるか～ ○紙崎 星美 ¹ ・日野出 賢二郎 ¹ ・井上 幸男 ¹ ・松田 悠平 ¹ ・Gregory N. Nishihara ² (¹ 長崎大・院・水環, ² 長崎大・海洋機構)	B07	緑色渦鞭毛藻 <i>Oxytoxum</i> sp. SG-436 株の共生藻痕跡核のゲノム解析 ○川久保 卓志 ¹ ・松尾 恵梨子 ¹ ・高橋 和也 ² ・谷藤 吾朗 ³ ・岩瀧 光儀 ² ・稲垣祐司 ^{1,4} (¹ 筑波大・院・生命環境, ² 東大・アジアセンター, ³ 国立科博, ⁴ 筑波大・計算科学研究セ)
10:50	A08 Predation signals indirectly protect seaweed beds by modifying sea urchin foraging behavior ○Dominic Franco C. Belleza ¹ ・Yuuki Kawabata ¹ ・Tatsuki Toda ² ・Gregory N. Nishihara ³ (¹ 長崎大・院・水環, ² 創価大, ³ 長崎大・海洋機構)	B08	混合栄養性渦鞭毛藻 <i>Paragymnodinium stigmaticum</i> の栄養獲得様式 ○横内 洸・堀口 健雄 (北大・院・理)
11:05	A09 アマモ場における生態系総一次生産量と環境要因の関係 ○河手 梓 ¹ ・井上 幸男 ¹ ・日野出 賢二郎 ¹ ・紙崎 星美 ¹ ・Dominic Franco C. Belleza ¹ ・松田 悠平 ¹ ・浦江 壮志 ² ・日高 幹也 ² ・戸田 龍樹 ³ ・寺田 竜太 ⁴ ・Gregory N. Nishihara ⁵ (¹ 長崎大・院・水環, ² 長崎大・水産, ³ 鹿大・院・連農, ⁴ 創価大・院・工, ⁵ 長崎大・海洋機構)	B09	Pigment composition and phylogenetic relationship of the Kareniaceae (Gymnodiniales, Dinophyceae) from the Western Pacific coastal waters ○Garry Benico ¹ ・Kazuya Takahashi ² ・Takashi Yoshikawa ³ ・Mitsunori Iwataki ² (¹ Graduate School of Agricultural and Life Sciences, Univ. Tokyo, ² Asian Natural Environmental Science Center, Univ. Tokyo, ³ School of Marine Science and Technology, Tokai University)

- 11:20 **A10** 現場の栄養塩動態とアマモ内の無機栄養塩の関係
 ○浦江 壮志¹・井上 幸男²・日野出 賢二郎²・紙崎 星美²・Dominic Franco C. Belleza²・河手 梓²・角皆 瑞紀²・松田 悠平²・日高 幹也¹・戸田 龍樹³・Gregory N. Nishihara⁴ (1 長崎大・水, 2 長崎大・院・水環, 3 創価大・院・工, 4 長崎大・海洋機構)
- B10** 新規に分離された珪質型ポリド藻 *Tetraparma* 属 3 種の分子系統解析
 ○新川 裕大¹・山田 和正¹・吉川 伸哉¹・桑田 晃²・一宮 睦雄³・佐藤 晋也¹ (1 福井県大, 2 水産機構・東北水研, 3 熊本県大)
- 11:35 **A11** 葉状多細胞緑藻で発見された単細胞状態での指数増殖
 ○木下 優太郎^{1,2}・田中 幸記³・山本 博文⁴・佐藤 陽一²・櫻井 哲也⁵・平岡 雅規³ (1 高知大・院・黒潮, 2 理研食品, 3 高知大・総研セ, 4 徳島文理大・薬, 5 高知大・農林海洋)
- B11** 珪藻 *Phaeodactylum tricornutum* のセレン添加による高温耐性の獲得
 ○前兼久 郁¹・辻 敬典²・米田 広平³・松田 祐介³・田中 厚子¹ (1 琉球大・院・理工, 2 京大・生命科学, 3 関西学院大・理工)

11:50 – 12:50 昼休み Lunch

3月27日(金) 午後の部 March 27 (Fri) PM

12:50 – 13:50 **ポスター発表 1 (D, E 会場, 2 階 124, 125 号講義室)**
Poster Session 1 (Venue D & E, Room #124 & #125, 2F)

- PA01** サンゴ礁域における海藻の植生の決定要因を探る
 ○戸崎 幹大¹・岩永 洋志登²・山本 広美³・田中 厚子¹ (1 琉球大・理・海洋自然, 2 (株) 沖縄環境分析セ, 3 沖縄美ら島財団)
- PA03** 褐藻ヒジキの光合成に対する高温・低温の影響は光量・栄養塩濃度・通気の有無によって変化する
 ○杉江 透¹・遠藤 光²・森山 光²・寺田 竜太³ (1 鹿大・院・農水, 2 鹿大・水, 3 鹿大・院・連農)
- PA05** 鹿児島産ヒジキの光合成における光, 温度, 乾燥, 塩分の影響
 ○米盛 裕希子¹・遠藤 光²・Gregory N. Nishihara³・寺田 竜太⁴ (1 鹿大・院・農水, 2 鹿大・水, 3 長崎大・海洋機構, 4 鹿大・院・連農)
- PA07** 大気・海水間の酸素フラックスが沿岸生態系一次生産量に及ぼす影響
 ○井上 幸男¹・日野出 賢二郎¹・紙崎 星美¹・Dominic Franco C. Belleza¹・角皆 瑞紀¹・松田 悠平¹・河手 梓¹・浦江 壮志¹・戸田 龍樹³・寺田 竜太⁴・Gregory N. Nishihara⁵ (1 長崎大・院・水環, 2 長崎大・水, 3 創価大・院・工, 4 鹿大・院・連農, 5 長崎大・海洋機構)
- PA09** ノコギリモク (*Sargassum macrocarpum*) の放卵に影響する環境要因の検討
 ○松田 悠平¹・角皆 瑞紀¹・井上 幸男¹・日野出 賢二郎¹・紙崎 星美¹・Dominic Franco C. Belleza¹・河手 梓¹・浦江 壮志²・日高 幹也²・Gregory N. Nishihara³ (1 長崎大・院・水環, 2 長崎大・水産, 3 長崎大・海洋機構)
- PA11** 異なる地域に生息する褐藻アラメの温度耐性
 ○大竹 佑衣¹・原 淑乃²・島田 智² (1 お茶大・理・生物, 2 お茶大・院・ライフサイエンス)
- PA13** 海藻類の系統地理的解析
 ○千村 佳那子¹・岩崎 貴也²・島田 智³ (1 お茶大・理・生物, 2 神奈川大・理・生物, 3 お茶大・院・ライフサイエンス)
- PA15** 褐藻アミジグサの生活環における核相変化の検証
 ○新井 嵩博・鈴木 秀和・神谷 充伸 (海洋大・院・藻類)
- PA17** Distributional studies of *Pyropia katadae* and its host species in Ise city, Mie prefecture
 ○Man-Gu Kang・Hiroto Fujiwara・Yusuke Nogita・Akira Kurashima (Mie University, Graduate school of Bioresources)
- PA19** 小笠原諸島アオウミガメの消化管内に見られる摂餌海藻の多様性
 ○笹森 里菜¹・近藤 理美²・北山 知代²・鈴木 秀和¹・神谷 充伸¹ (1 海洋大・藻類, 2 ELNA)
- PA21** 御前崎の潮間帯における海藻類の現存量と生育帯別の植生
 奥田 なほ¹・中村 誠司²・芹澤 (松山) 和世¹・芹澤 如比古¹ (1 山梨大・教育, 2 山梨大・院・工)
- PA23** 稀産紅藻ナガオバネ *Schimmelmannia plumosa* の分類学的再検討
 ○星野 雅和¹・猪野 千尋¹・北山 太樹²・小亀 一弘¹ (1 北大・理, 2 国立科博)
- PA25** COI バーコーディングによる微小褐藻の多様性
 関本 瑠菜・小亀 一弘 (北大・院・理)
- PA27** 千葉県勝浦市沿岸における無節サンゴモ相
 ○馬場 将輔¹・菊地 則雄²・加藤 亜記³ (1 海洋生物環境研究所, 2 千葉中央博覧館海の博物館, 3 広島大・院・統合生命科学)
- PA29** 館山産アメフラシ類幼体による海藻の摂餌
 ○橋本 友明・藤田 大介 (海洋大・応用藻類)
- PA31** LED 照明によるワカメ種苗生産効率化技術の開発
 ○岡 直宏¹・山室 達也²・阿部 真比古³・村瀬 昇³・浜野 龍夫¹ (1 徳島大・院・社会産業理工, 2 徳島大・院・総科, 3 水産機構・水大校)
- PA33** 海藻に付着する浮泥・付着生物量の定量と人工的間欠流による除去効果
 ○大竹 正弘¹・米子 大地²・名取 則明¹・Gregory N. Nishihara³・戸田 龍樹¹ (1 創価大・院・工, 2 創価大・理工, 3 長崎大・海洋機構)
- PA35** 汽水産スジアオノリの有性個体群間の遺伝的変異
 ○平岡 雅規¹・木下 優太郎^{2,3}・三浦 収⁴・山崎 朋人⁵・櫻井 哲也⁴ (1 高知大・総研セ, 2 高知大・院・黒潮, 3 理研食品, 4 高知大・農林海洋, 5 高知大・理工)

- PA37** 水深別の現存量調査から明らかになった富士五湖における水草・車軸藻類の垂直分布
森下 祐太郎¹・中村 誠司²・芹澤 (松山) 和世¹・○芹澤 如比古¹ (¹山梨大・教育, ²山梨大・院・工)
- PA39** 大分県における希少淡水大型藻カワノリの生育状況
○伊藤 龍星¹・飯間 雅文² (¹大分農林水研セ, ²長崎大・環境科学)
- PA41** ノリを教材としたアクティブ・ラーニングの実践—大森 海苔のふるさと館での取り組み・第2報—
○滝本 彩佳¹・小山 文大¹・乾 賢太郎²・鈴木 秀和³ (¹特定非営利活動法人 海苔のふるさと会, ²大田区立郷土博物館, ³海洋大・院・藻類)
- PB01** 接合藻類アオミドロ属の新規培養株についての形態観察及び系統解析
○高野 智之¹・野崎 久義²・坂山 英俊¹ (¹神戸大・院・理, ²東大・院・理)
- PB03** *Kryptoperidinium* 属ディノトム (渦鞭毛藻綱) および共生藻の多様性
○山下 芳夏¹・Norico Yamada²・堀口 健雄³ (¹北大・理・生物, ²Dept. Biol., Univ. Konstanz, ³北大・院理・生物)
- PB05** ラビリンチュラ類 *Aplanochytrium* 属株が栄養源とできる藻類の多様性
○宮岡 利樹¹・茂木 大地²・本多 大輔^{2,3} (¹甲南大・院・自然科学, ²甲南大・理工, ³甲南大・統合ニューロ研)
- PB07** ヤマアカガエル及びニホンアカガエルの卵塊に共生する藻類
○武井 萌・西川 完途・神川 龍馬・宮下 英明 (京大・院・人間環境)
- PB09** ハマサンゴの一種 *Porites* sp. の骨格から分離した糸状緑藻
西堀 洋平¹・○大波 千恵子²・須田 彰一郎³・神川 龍馬¹・宮下 英明¹ (¹京大・院・人間環境, ²京大・総合人間, ³琉球大・理)
- PB11** エレクトロポレーション法を用いた, *Parietichytrium* sp. (ラビリンチュラ類) への遺伝子導入の試み
○馬詰 悠¹・石橋 洋平²・伊東 信²・早川 靖彦³・本多 大輔^{4,5} (¹甲南大・院・自然科学, ²九大・院・農, ³ネッパジーン (株), ⁴甲南大・統合ニューロ研, ⁵甲南大・理工)
- PB13** リン欠乏下での脂質リモデリングとその代謝機構
○日吉 龍典・佐藤 典裕 (東京薬科大・生命科学)
- PB15** ハプト藻 *Isochrysis galbana* の成長と色素・脂肪酸生産に対するアンモニアの影響
○後藤 緑¹・岸 正敏²・平原 南萌²・長尾 宣夫³・Fatimah Md. Yusoff³・戸田 龍樹¹ (¹創価大・院・工, ²創価大・理工, ³マレーシアプトラ大)
- PB17** Influence of different nutritional modes on cell growth and morphology of *Chromochloris zofingiensis*
○Anupreet Kaur¹・Kishi M.²・Toda T.¹ (¹Graduate School of Engineering, Soka University, ²Faculty of Science and Engineering, Soka University)
- PB19** 緑藻クロレラバイオフィルムの光合成およびリン酸吸収特性
○宮内 啓喜・原田 康平・岡田 克彦・藤原 祥子・都筑 幹夫 (東京薬科大・生命)
- PB21** 食肉生産に向けた微細藻類抽出液を用いた動物細胞培養
○岡本 裕太^{1,2}・原口 裕次²・澤村 直哉³・朝日 透⁴・清水 達也² (¹早稲田大・先進理工学研究科, ²東京女子医科大・先端生命医科学研究所, ³早稲田大・ナノ・ライフ創新研究機構, ⁴早稲田大・理工学術院)
- PB23** 重イオンビーム照射により得られる微細藻類変異株のスクリーニングと大量培養への展開
○竹下 毅^{1,3}・吉澤 有子¹・工藤 恭子¹・恵良田 真由美²・篠原 利香³・河野 重行³ (¹㈱アルガルバイオ, ²東大・院・新領域, ³東大・FC 推進機構)
- PB25** ハワイで新種報告された気生藻 *Spongiocorysis hawaiiensis* (シオグサ目, アオサ藻綱) の日本初記録
○半田 信司¹・溝渕 綾¹・中原 坪田 美保²・坪田 博美³ (¹広島県環境保健協会, ²千葉中央博・共同研究員, ³広島大・院・統合生命)
- PB27** 2017 年に宍道湖で出現した *Aphanizomenon* 属の形態と増殖条件の検討
○加藤 季晋¹・野尻 由香里¹・神門 利之¹・林 昌平²・大谷 修司³ (¹島根県保環研, ²島根大・生物資源, ³島根大・教育)
- PB29** NBRP 藻類 第4期 2019 年度の活動紹介
○山口 晴代¹・鈴木 重勝¹・川井 浩史²・羽生田 岳昭²・秋田 晋吾²・小亀 一弘³・山口 愛果³・河地 正伸¹ (¹国立環境研究所, ²神戸大・内海域セ, ³北大・院・理)

14:00 – 16:35 **口頭発表 Oral Session (Venue A: Room #131, 3F; Venue B: Room #121, 2F)**

A 会場 (3 階 131 号講義室)		B 会場 (2 階 121 号講義室)	
14:00	A12 褐藻類の細胞質分裂時に出現するアクチンと隔膜形成、微小管との関係について ○青木 日向子 ¹ ・本村 泰三 ² ・長里 千香子 ² (¹ 北大・院・環境科学, ² 北大・北方セ)	B12	マイクロ流路チップ・セルソーターによる高オイル生産株の探索 ○井上 瑛子 ¹ ・大田 修平 ² ・松崎 令 ^{2,3} ・岡田 昌樹 ¹ ・河地 正伸 ² (¹ 日大・生産工, ² 国立環境研究所, ³ 筑波大・生命環境)
14:15	A13 褐藻エゾイシゲ接合子の発生における細胞壁構造観察とトランスクリプトーム解析 ○與那嶺 里菜 ¹ ・市原 健介 ² ・本村 泰三 ² ・長里 千香子 ² (¹ 北大・院・環境科学, ² 北大・北方セ)	B13	ハプト藻型葉緑体をもつ狭義の <i>Gymnodinium</i> 系統群の渦鞭毛藻 1 種の微細構造と系統 ○高橋 和也・岩滝 光儀 (東大・アジアセンター)
14:30	A14 褐藻ムチモ (異形配偶子接合) における葉緑体細胞質遺伝と父性ミトコンドリアの消失過程について ○申元 ¹ ・岩尾 豊紀 ² ・本村 泰三 ³ ・長里 千香子 ³ (¹ 北大・院・環境科学, ² 鳥羽市水産研究所, ³ 北大・北方セ)	B14	盗葉緑体性渦鞭毛藻 <i>Nusuttodinium aeruginosum</i> の共生クリプト藻から探る細胞内共生の進化 ○大沼 亮 ^{1,2} ・廣岡 俊亮 ¹ ・藤原 崇之 ¹ ・兼崎 友 ³ ・吉川 博文 ⁴ ・宮城島 進也 ¹ (¹ 遺伝研・遺伝形質, ² JSPS・PD, ³ 静岡大・グリーン研, ⁴ 東京農大・バイオ)

14:45	A15 緑藻バロニアのレンズ状細胞発達過程における細胞壁構造の変化 ○峯 一朗 ¹ ・岡本 彩 ² ・岡田 恭知 ² ・妹尾 智之 ² (¹ 高知大・院・黒潮圏, ² 高知大・理・生物科学)	B15 Species discovery, systematics, and taxonomy of marine gregarines (Apicomplexa) ○Davis Iritani ¹ ・Koh Yokuchi ² ・Takeo Horiguchi ³ ・Kevin C. Wakeman ⁴ (¹ Graduate School of Science, Hokkaido University, ² Institute for the Advancement of Higher Education, Hokkaido University, ³ Faculty of Science, Hokkaido University)
15:00	A16 海産緑藻の配偶子、動接合子、遊走子における眼点のサイズと生育環境との関係 ○宮村 新一 ¹ ・桑野 和可 ² ・河野 重行 ³ (¹ 筑波大・生命環境, ² 長崎大・院・水環, ³ 東大・FC 推進機構)	B16 渦鞭毛藻ウイルスの DNA ポリメラーゼ活性中心は生物界の例外的存在か? 池田 彩乃 ¹ ・高野 義人 ¹ ・遠藤 寿 ² ・緒方 博之 ² ・櫻井 哲也 ¹ ・加藤 伸一郎 ¹ ・大西 浩平 ¹ ・森澤 啓子 ¹ ・樋口 琢磨 ¹ ・外丸 裕司 ³ ・高橋 迪子 ⁴ ・○長崎 慶三 ¹ (¹ 高知大, ² 京大化研, ³ 水産機構・瀬戸水研, ⁴ 学振 PD)
15:15–15:20	休憩 Break	
15:20	A17 褐藻セイヨウハバノリの直立体形成に与える光質の影響 前川 裕哉・○吉川 伸哉 (福井県大)	B17 珪藻の進化・繁栄の謎を握る未知の藻類: パルマ藻のゲノム解析 ○桑田 晃 ¹ ・中村 洋路 ² ・斉藤 憲治 ¹ ・伴 広輝 ³ ・緒方 博之 ³ ・佐藤 晋也 ⁴ ・吉川 伸哉 ⁴ ・一宮 睦雄 ⁵ (¹ 水産機構・東北水研, ² 水産機構・中央水研, ³ 京大・化研, ⁴ 福井県大, ⁵ 熊本県大)
15:35	A18 瀬戸内海中央部のアカモクの <i>cox3</i> およびマイクロサテライトによる個体群解析 ○山岸 幸正 ¹ ・松原 拓也 ¹ ・芹川 智祐 ¹ ・西沢 琢登 ¹ ・野口 大毅 ² ・三輪 泰彦 ¹ (¹ 福山大・生命工, ² 日本総合科学)	B18 変わり者の中心珪藻 <i>Hydrosera</i> の殻微細構造, 種内多型およびオルガネラゲノム ○佐藤 晋也 ¹ ・豊田 健介 ² ・長田 敬五 ³ ・出井 雅彦 ⁴ (¹ 福井県大・海洋生物, ² 日歯大・生物, ³ 日歯大・新潟・生物, ⁴ 文教大・教育・生物)
15:50	A19 分子系統学的解析と形態学的観察に基づく緑藻ボンニアオノリ <i>Umbraulva kuaweuweu</i> (アオサ藻綱アオサ目) の分類の再検討 ○川井 浩史 ¹ ・羽生田 岳昭 ¹ ・峯 一朗 ² ・高市 真一 ³ ・寺田 竜太 ⁴ ・北山 太樹 ⁵ (¹ 神戸大・内海域, ² 高知大・黒潮圏, ³ 東京農大・生命科学, ⁴ 鹿大・連農, ⁵ 国立科博)	B19 エンドヘレア太陽虫 <i>Microheliella maris</i> の系統的位相とミトコンドリアゲノム ○矢吹 彬憲 ¹ ・矢崎 裕規 ² ・白鳥 峻志 ¹ ・今泉 朱夏 ³ ・久米 慶太郎 ⁴ ・橋本 哲男 ³ ・稲垣 祐司 ³ (¹ 海洋研究開発機構・RIGC・Deep-Bio, ² 東大・院・医学系, ³ 筑波大・院・生命環境科学, ⁴ 筑波大・医学医療系)
16:05	A20 褐藻ホンダワラ亜属 3 種 (キレバモク, タマキレバモク, ヒイラギモク) の系統地理学的研究 ○羽生田 岳昭 ¹ ・孫 忠民 ² ・川井 浩史 ¹ (¹ 神戸大・内海域セ, ² 中国科学院海洋研究所)	B20 緑藻類における光合成能喪失と葉緑体電子伝達系の縮退進化 加山 基 ¹ ・陳 俊峰 ¹ ・仲田 崇志 ² ・西村 芳樹 ¹ ・鹿内 利治 ¹ ・宮下 英明 ¹ ・高市 真一 ³ ・柏山 祐一郎 ⁴ ・○神川 龍馬 ¹ (¹ 京大・院, ² 慶応大, ³ 東京農大, ⁴ 福井工大)
16:20	A21 Increasing species diversity of the brown algal genus <i>Padina</i> (Dictyotales, Phaeophyceae) from the Indo-Pacific ○Ni-Ni-Win ¹ ・Takeaki Hanyuda ² ・Lawrence M. Liao ³ ・Hiroshi Kawai ² ・Mutsunori Tokeshi ¹ (¹ Kyushu University Amakusa Marine Biological Laboratory, ² Kobe University Research Center for Inland Seas, ³ Graduate School of Biosphere Science, Hiroshima University)	B21 クロロモナス系統群 (緑藻綱, ボルボックス目) の多遺伝子分子系統 ○松崎 令 ¹ ・鈴木 重勝 ² ・山口 晴代 ² ・河地 正伸 ² ・野崎 久義 ³ ・鈴木 石根 ¹ (¹ 筑波大・生命環境, ² 国立環境研究所, ³ 東大・理・生物)

16:45 – 17:45 総会 (C 会場, 1 階 111 号講義室) General Meeting (Venue C, Room #111, 1F)

18:00 – 20:00 懇親会 (学習交流プラザ) Banquet (Student & Communication Plaza)

3月28日(土) 午前の部 March 28 (Sat) AM

9:00 – 11:50 口頭発表 Oral Session (Venue A: Room #131, 3F; Venue B: Room #121, 2F)

A 会場 (3 階 131 号講義室)		B 会場 (2 階 121 号講義室)	
9:00	A22 紅藻 <i>Agardhiella subulata</i> の生長に対する水温の影響 岡 直宏 ^{1,○} ・梅原 大智 ² ・佐藤 陽一 ³ ・浜野 龍夫 ¹ (¹ 徳島大・院・社会産業理工, ² 徳島大・生物生産, ³ 理研食品)	B22 3 性を持つボルボックス系列藻 <i>Pleodorina starrii</i> 性決定機構の遺伝学的解析 ○高橋 昂平 ¹ ・豊岡 博子 ¹ ・大槻 涼 ^{1,2} ・浜地 貴志 ³ ・野崎 久義 ¹ (¹ 東大・院・理, ² 駒沢大・総合教育, ³ 京大・院・理)	
9:15	A23 緑藻クビレズタの光合成における光や温度, 塩分, 乾燥ストレスの応答 高江洲 萌 ¹ ・Gregory N. Nishihara ² ・○寺田 竜太 ³ (¹ 鹿大・水, ² 長崎大・海洋機構, ³ 鹿大・院・連農)	B23 <i>Planktosphaeria</i> , <i>Follicularia</i> , <i>Herndonia</i> gen. nov. (スファエロプレア目, 緑藻綱) の系統と分類 渡邊 信 (富山大・理)	
9:30	A24 佐賀産ナラワスサビノリの空気暴露下における光合成の応答, 世代間の相違について 有村 要 ¹ ・○渡邊 裕基 ² ・三根 崇幸 ³ ・森川 太郎 ³ ・Gregory N. Nishihara ⁴ ・寺田 竜太 ⁵ (¹ 鹿大・水, ² 海生研, ³ 佐賀有明水振セ, ⁴ 長崎大・海洋機構, ⁵ 鹿大・院・連農)	B24 クロララクニオン藻のピレノイド構成タンパク質のプロテオーム解析 福田 耕大 ¹ ・長里 千香子 ² ・本村 泰三 ² ・○平川 泰久 ¹ (¹ 筑波大・生命環境, ² 北大・北方セ)	
9:45	A25 沖縄本島における藻場の分布と環境要因との関係 ○鈴木 はるか・阿部 博哉・熊谷 直喜・山野 博哉 (国立環境研究所)	B25 琵琶湖から分離された, 遠赤色光のみを光源として光合成生育する真核藻類 西堀 洋平・北崎 翔・神川 龍馬・○宮下 英明 (京大・院・人間環境)	
10:00	A26 アカモク, クロメにおける I3C 法による生産量と藻体内色素含量との関係 ○吉田 吾郎・阿部 和雄・島袋 寛盛・堀 正和・首藤 宏幸・阿保 勝之 (水産機構・瀬戸水研)	B26 光合成を失う, その前に起こること: クリプト藻をモデルとした色素体ゲノムの比較解析 ○鈴木 重勝 ¹ ・松崎 令 ^{1,2} ・山口 晴代 ¹ ・河地 正伸 ¹ (¹ 国立環境研究所, ² 筑波大・生命環境)	
10:15	A27 岩手県越喜来湾における養殖ワカメの芽落ち対策 斎藤 大輔 ¹ ・名越 日佳理 ¹ ・○佐藤 陽一 ¹ ・船砥 浩一 ² ・難波 信由 ³ (¹ 理研食品, ² 越喜来漁協, ³ 北里大・海洋)	B27 遺伝子水平伝播による淡水性アオコ形成ラン藻の海への回帰 ○田辺 雄彦 ^{1,2} ・山口 晴代 ¹ ・河地 正伸 ¹ (¹ 国立環境研究所, ² テクノスルガ・ラボ)	
10:30–10:35		休憩 Break	
10:35	A28 オキナワモズクの苗床環境が養殖生産量に与える影響 ○名越 日佳理 ¹ ・佐藤 陽一 ¹ ・伊藤 通浩 ² ・小西 照子 ³ ・藤村 弘行 ⁴ ・Gregory N. Nishihara ⁵ ・田中 厚子 ⁴ (¹ 理研食品, ² 琉球大・熱生研, ³ 琉球大・農, ⁴ 琉球大・理, ⁵ 長崎大・海洋機構)	B28 微細藻類に対するオイルパーム樹液の増殖促進効果 ○藍川 晋平・荒井 隆益・近藤 俊明・小杉 昭彦 (国際農林水産業研究センター)	
10:50	A29 ラムサール条約登録地「志津川湾」における海藻草類分布状況 ○阿部 拓三 ¹ ・福岡 将之 ¹ ・太齋 彰浩 ² ・本多 正樹 ³ (¹ 南三陸 NC, ² サステナビリティセンター, ³ 電中研 (旧所属))	B29 省エネルギー型微細藻類リアクターの研究開発 ○平原 南萌 ¹ ・Fatimah Md. Yusoff ² ・戸田 龍樹 ¹ (¹ 創価大・院・工, ² マレーシアプトラ大)	
11:05	A30 現地視察・公開空中写真による北海道日本海側漁港船揚場の大型海藻植生簡易調査 ○藤田 大介・田中 博之 (海洋大・応用藻類)	B30 光の消散係数を用いた有害藻類 <i>Karenia mikimotoi</i> の分布水深の簡易推定法について ○平江 想 ¹ ・山本 佳奈 ¹ ・山砥 稔文 ¹ ・山口 創一 ² (¹ 長崎水試, ² 九大・総理工)	
11:20	A31 同時期の大規模な海中林磯焼けとサンゴ白化の比較解析 熊谷 直喜 (国立環境研究所)	B31 増殖応答因子から見た大阪湾東部海域における優占珪藻の出現動態 ○横山 亜紀子・東 博紀・中田 聡史・牧 秀明・金谷 弦・越川 海 (国立環境研究所)	
11:35	A32 空間構造下における大型藻類個体群動態の数理的解析 別所 和博 (埼玉医科大)	B32 藻食魚アユの生息する河川における流下藻類の種類組成 ○阿部 信一郎 ¹ ・合屋 国祐 ² ・高橋 真司 ³ ・竹門 康弘 ⁴ ・井口 恵一朗 ² (¹ 茨城大, ² 長崎大, ³ 東北大, ⁴ 京大・防災研)	

11:50 – 12:50 昼休み Lunch

3月28日(土) 午後の部 March 28 (Sat) PM

12:50 – 13:50 ポスター発表 2 (D, E 会場, 2 階 124 号, 125 号講義室)

Poster Session 2 (Venue D & E, Room #124 & #125, 2F)

- PA02 鹿児島県長島における藻場の分布, 過去との比較から**
進藤 蒼¹・田中 美和¹・遠藤 光¹・寺田 竜太² (¹ 鹿大・水, ² 鹿大・院・連農)
- PA04 紅藻アマノリ類の不飽和脂肪酸と温度環境適応**
須賀 菜々子¹・小林 哲幸²・菊池 則雄³・畠田 智² (¹ お茶大・理・生物, ² お茶大・院・ライフサイエンス, ³ 千葉県立中央博物館分館海の博物館)
- PA06 褐藻ヒジキの熱放散能力に対する高温・貧栄養・強光の複合作用**
森山 光¹・遠藤 光¹・寺田 竜太² (¹ 鹿大・水, ² 鹿大・院・連農)
- PA08 褐藻ヒジキの主枝の発芽と成長に対する複数環境要因の複合作用**
錦戸 裕来¹・遠藤 光¹・寺田 竜太² (¹ 鹿大・水, ² 鹿大・院・連農)
- PA10 オキナワモズク栄養塩吸収特性**
猪股 英里^{1,2}・名越 日佳理²・佐藤 陽一²・伊藤 通浩³・小西 照子⁴・田中 厚子⁵・Gregory N. Nishihara⁶ (¹ 東北大・院・農, ² 理研食品, ³ 琉球大・熱生研, ⁴ 琉球大・農, ⁵ 琉球大・理, ⁶ 長崎大・海洋機構)
- PA12 クロロフィル蛍光法によるワカメ幼体の高温ストレスの評価**
村瀬 昇¹・浅岡 陸久¹・阿部 真比古¹・野田 幹雄¹・棚田 教生²・多田 篤司²・中西 達也²・岡 直宏³・浜野 龍夫³・島袋 寛盛⁴・吉田 吾郎⁴ (¹ 水産機構・水大校, ² 徳島県農林水産部, ³ 徳島大・生物資源, ⁴ 水産機構・瀬戸水研)
- PA14 中国でグリーンタイドを引き起こす *Ulva* の性染色体領域遺伝子による解析**
孫 忠民^{1,4}・高大海²・團 昭紀³・野崎 久義⁴ (¹ 中国科学院海洋研究所, ² 上海海洋大, ³ 徳島大・院・生物資源, ⁴ 東大・理・生物)
- PA16 八丈島沖を漂流するアカモク (褐藻綱ヒバマタ目) の生殖器官と由来について**
北山 太樹¹・羽生田 岳昭² (¹ 国立科博, ² 神戸大・内海域セ)
- PA18 Haploid spontaneous diploidization during apogamy of male gametophytes in *Pyropia haitanensis* (Rhodophyta)**
Yan Xing-Hong¹・Zhong Chenhui¹・Aruga Yusho² (¹ Shanghai Ocean University, China, ² Nishikamata 2-4-21, Ota-ku, Tokyo, Japan)
- PA20 主に北部九州沿岸で見られる海産ウシケノリ (紅藻ウシケノリ目) の系統分類学的研究**
栗原 暁 (九大・院・農)
- PA22 現地視察・公開空中写真による神奈川県漁港船揚場の大型海藻植生簡易調査**
田中 博之・藤田 大介 (海洋大・応用藻類)
- PA24 鹿児島県馬毛島沖で採集された日本新産紅藻 *Chondracanthus saundersii* の報告**
鈴木 雅大¹・寺田 竜太²・川井 浩史¹ (¹ 神戸大・内海域セ, ² 鹿大・院・連農)
- PA26 島原半島南部の「白洲」を構成する rhodolith (石灰藻球) の分類と生態 - 2018 年調査結果 -**
加藤 亜記¹・足立 賢太¹・井龍 康文²・馬場 将輔³ (¹ 広島大・統合生命, ² 東北大・理, ³ 海生研)
- PA28 三重県早田浦におけるガンガゼ除去に伴う長期的な海藻植生の変化**
石川 達也¹・竹内 大介¹・加藤 葉²・藤原 寛斗³・宇佐美 葉菜⁴・倉島 彰³ (¹ 尾鷲市役所, ² 増養殖研, ³ 三重大院・生物資源, ⁴ 三重大・生物資源)
- PA30 福井県のワカメ養殖に適した種苗および種系保管方法の検討**
中嶋 登¹・笠原 昇太²・山田 和正²・吉川 伸哉² (¹ 福井水試, ² 福井県大・海洋生物)
- PA32 小型循環システムを用いた海藻類の生長測定**
阿部 真比古・志村 勇気・上山 ひかる・太田 聖也・村瀬 昇 (水産機構・水大校)
- PA34 日本沿岸域に生育する 2 種のアオノリの比較ゲノム解析**
山崎 誠和^{1,2}・市原 健介³・桑野 和可⁴・宮村 新一⁵・河野 重行^{1,6} (¹ 東大・院・新領域・先端生命, ² JAXA・有人・利セ, ³ 北大・北方セ, ⁴ 長崎大・院・水環, ⁵ 筑波大・生命環境, ⁶ 東大・FC 推進機構・機能性バイオ PJ)
- PA36 鹿児島県で再確認されたオーストラリアシャジクモ**
藤原 陽一郎¹・加藤 将²・福岡 豪¹・小林 真吾³ (¹ 愛媛植物研究会, ² 新潟大・教育, ³ 愛媛県総合科学博物館)
- PA38 周年調査から明らかになった甲府市相川に生育する大型藻類, 特にイトシオグサ (新称) について**
松井 悠一郎・芹澤 (松山) 和世・芹澤 如比古 (山梨大・教育)
- PA40 岐阜県垂井町の水利用施設周辺におけるカワモズク類の分布**
津田 格¹・岸 大嗣² (¹ 岐阜県立森林文化アカデミー, ² 岐阜県水産研究所)
- PA42 環境省モニタリングサイト 1000 沿岸域調査における藻場のモニタリング 2019 年の成果**
寺田 竜太¹・阿部 拓三²・神谷 充伸³・川井 浩史⁴・倉島 彰⁵・本村 泰三⁶・坂西 芳彦⁷・島袋 寛盛⁸・田中 次郎³・青木 美鈴⁹ (¹ 鹿大・院・連農, ² 南三陸 NC, ³ 海洋大・海洋環境科学, ⁴ 神戸大・内海域セ, ⁵ 三重大・院・生資, ⁶ 北大・北方セ, ⁷ 水産機構・日本海水研, ⁸ 水産機構・瀬戸水研, ⁹ 日本国際湿地保全連合)
- PB02 地衣共生藻 *Asterochloris* (緑藻類, トレボウクシア藻綱) の遺伝的多様性**
上東 大地¹・石原 悠作²・大村 嘉人³・竹下 俊治¹ (¹ 広島大・院・教育, ² ノートルダム清心中・高等学校, ³ 国立科博・植物研究部)
- PB04 18S rRNA アンプリコン解析により見えてきたピコ藻類を捕食する外洋性プロティストの多様性**
松田 知樹¹・日高 清隆²・瀬藤 聡²・柏山 祐一郎¹ (¹ 福井工大, ² 水研機構・中央水研)

- PB06** 琉球大学構内から分離培養された単細胞ラン藻 Ru3-11 株について
○須田 彰一郎¹・Hutabarat P.U.B.²・Nuryadi H.²・澄本 慎平³ (¹ 琉球大・理, ² 琉球大・院・理工, ³ 神奈川大・工)
- PB08** 渦鞭毛藻 Symbiodiniaceae 培養株に共生するプロテオバクテリアのゲノム解析
○將口 栄一¹・久田 香奈子¹・新里 宙也²・佐藤 矩行¹ (¹ 沖縄科技大・マリンゲノミックス, ² 東大・大気海洋研)
- PB10** スペインで新種報告された汽水性赤潮プランクトン *Urgorri complanatus* (クリプト藻) の日本初記録
○溝渕 綾・土岡 宏彰・半田 信司 (広島県環境保健協会)
- PB12** 緑藻類ホスファチジルイノシトール 3 リン酸の細胞内動態と重金属感受性に対する影響
○大田 修平¹・平川 泰久²・河地 正伸¹ (¹ 国立環境研究所, ² 筑波大・生命環境)
- PB14** 紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* の硫黄濃度変化への細胞応答に関する研究
○三角 修己・村上 瑞稀 (山口大・院・創成科学)
- PB16** 珪藻 *Phaeodactylum triconutum* の葉緑体ピレノイドの構造
○田中 厚子・前兼久 郁 (琉球大・院・理工)
- PB18** 共生藻保有ラッパムシ *Stentor pyrififormis* における培養液の開発と細胞分裂の観察
○飯田 仁 (千葉科学大・薬)
- PB20** *Rapaza viridis* の核ゲノムコード光合成関連遺伝子とそのノックダウン実験
丸山 萌¹・白崎 透¹・伊阪 俊貴¹・大沼 亮²・宮城島 進也²・○柏山 祐一郎¹ (¹ 福井工大, ² 遺伝研)
- PB22** 重イオンビーム照射によるオイル分解抑制ハプト藻株の探索と解析
○新家 弘也¹・副島 敬佑¹・山下 晃¹・岩田 康嗣²・長谷 純宏³・大野 豊³・鈴木 石根⁴ (¹ 関東学院大・理工, ² 産総研, ³ 量研・高崎研, ⁴ 筑波大・生命環境)
- PB24** 新規担子地衣類から分離された *Elliptochloris* (Trebouxiophyceae) の系統・分類学的研究
○升本 宙¹・半田 信司²・出川 洋介¹ (¹ 筑波大・山岳科学セ・菅平高原実験所, ² 広島県環境保健協会)
- PB26** 南極昭和基地周辺土壌から分離された黄緑藻 *Botrydiopsis* 属の分類学的研究
○大谷 修司¹・林 昌平² (¹ 島根大・教育, ² 島根大・生資)
- PB28** 淡水産黄緑藻 *Chlorogibba* sp. の形態と生活環
○須谷 昌之¹・大谷 修司² (¹ 島根県立出雲高校, ² 島根大・教育)
- PB30** 褐藻ワイジガタクロガシラにおける原形質連絡の透過性
○白又 拓也¹・本村 泰三²・長里 千香子² (¹ 北大・理, ² 北大・北方セ)

14:00 – 17:00 **公開シンポジウム (C 会場, 1 階 111 号講義室)**

Symposium (Venue C, Room #111, 1F)

「藻類研究：多様なアプローチ, 見えてきたこと, これから求められること」

- 14:00 趣旨説明
- 14:05 **S1** 湖沼調査から新たなブレイクスルーを目指して
野崎 久義 (東大・理学系・生物科学)
- 14:35 **S2** 珪藻殻の多様性を理解する
真山 茂樹 (東京学芸大・生物)
- 15:05 **S3** 渦鞭毛藻研究～多様性・進化・細胞内共生～
堀口 健雄 (北大・院・理)
- 15:35 ～ 15:45 休憩 Break
- 15:45 **S4** 海産多核緑藻の細胞分裂と体づくり
奥田 一雄 (高知大)
- 16:15 **S5** コンブ類の初期進化と系統分類
川井 浩史 (神戸大・内海域)
- 16:45 総合討論